

## 平成23年6月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成23年6月30日（木）午後3時05分～午後4時10分
- 2 場 所 所沢市立教育センター 第1研修室
- 3 出席者 [委員] 富田常世委員長、清水三和子委員長職務代理者、守谷靖委員、京谷圭子委員、佐藤徳一教育長  
[事務局] 山寄裕司教育総務部長、平塚俊夫学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、江田宏樹学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、金子美也子生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、北健志教育総務課長、関口恭一スポーツ振興課長、鈴木正行文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齋藤敏男教育センター所長、岸健次教育総務課主幹兼教育企画室長、山口勝彦学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長  
[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査
- 4 前回会議録の承認
- 5 会議の傍聴者 別添のとおり（4名）
- 6 開 会 本日の議案は、第7号と第8号の2件。
- 7 議 題
  - 議案第7号 所沢市公民館運営審議会委員の委嘱について  
資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。  
質疑は特になし。
  - ※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。
  
  - 議案第8号 所沢市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
資料に則り、中村保健給食担当参事兼保健給食課長から説明がなされた。  
質疑は特になし。
  - ※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。
- 8 協議事項
  - 所沢市教育委員会に対する請願の取扱いについて  
資料に則り、北教育総務課長から説明がなされた。  
以下、質疑。

(清水委員長職務代理者)

さいたま市や東京都など、既に規則等が整備されている他市では、実際に教育委員会に対してどのような請願があったのか、具体的な事例があれば教えてほしい。

(北教育総務課長)

さいたま市や新座市では、実際に教育委員会に対して請願が出された事例はないと聞いておりますが、東京都では教員の人事に関する請願が出されたことがあるようです。

(清水委員長職務代理者)

東京都の事例では、その請願を受けて、どのような処理がされたのか。

(北教育総務課長)

人事案件のため、教育委員会で協議がなされ、結果を請願者に通知したようですが、具体的な処理結果についての情報はございません。

(京谷委員)

教育委員会に対して請願が出されたということは、請願者以外の一般にも公表されるのか。

(北教育総務課長)

教育委員会に対する請願の取扱いにつきましては、所沢市のホームページで制度の周知を図ってまいりたいと考えております。教育委員会会議で請願について報告された旨、会議録としてホームページにアップされますので、一般に公表されることとなります。

#### ●平成24年度所沢市立幼稚園園児募集について

資料に則り、江田学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

所沢第二幼稚園は現在の年中が2クラスで、保育室は3部屋しかないと思うが、来年度70人(2クラス)募集しても施設として大丈夫なのか。

(江田学校教育部次長)

70人の定員で募集を考えております。新入園児が35人を超えた場合には、別の施設を改築して対応していきたいと考えております。

(富田委員長)

別の施設とは、所沢第二幼稚園内の別の建物ということか。

(江田学校教育部次長)

はい。

(清水委員長職務代理者)

所沢第二幼稚園は、現在プレハブの園舎になっていると記憶しているが。

(江田学校教育部次長)

耐震の関係で、現在はプレハブの園舎を使用しております。

(清水委員長職務代理者)

プレハブの園舎を耐震強化しているのか。

(田中教育施設担当参事)

園舎3部屋につきましては、従来のものを取り壊し、今年の3月にプレハブを新築して、リースにより運営しているところです。

●給食施設等整備計画について

資料に則り、中村保健給食担当参事兼保健給食課長から説明がなされた。  
以下、質疑。

(清水委員長職務代理者)

学校耐震化が完了した後とのことだが、東日本大震災をうけて、耐震化が前倒しになる可能性はあるのか。

(山寄教育総務部長)

耐震化事業は、もともと平成27年度を完了の目安としていたところを、2年前倒しし平成25年度に完了することとしておりますが、調査診断・設計・工事の3年がひとつのスパンであることから、これ以上の前倒しは難しい状況です。しかしながら、平成25年度に工事を予定していたもののうち8棟の設計が既に完了していることから、予算が付けば平成24年度に前倒しが可能となります。

(藤田教育総務部次長)

資料1ページの「所沢市教育施設整備検討委員会」について補足説明いたします。今まで、学校の耐震化を優先して実施してきていることから、その他の教育委員会の施設整備につきましては中断しているのが現状です。耐震化事業は平成25年度で完了する見込みとなっておりますが、他にも教育委員会所管の施設はたくさんあることから、それらの整備、修繕を計画的に実施していかなければなりません。教育委員会全体として、そうしたハード面の整備について検討をすべく、本年6月に所沢市教育施設整備検討委員会を発足させました。教育委員会10課の各所属長を委員として、年内を目標に検討委員会での案をまとめるため動いているところです。今回、協議事項として出された給食施設等整備計画につきましても、検討委員会で扱うこととなります。実施にあたっては、多額の費用を要することになりますので、検討委員会のなかでも重要な位置を占めるものと考えております。

(富田委員長)

所沢市教育施設整備検討委員会で、ある程度の優先順位が決まってくればそれを総合計画の中に位置付けていかなければならないものとする。平成4年度に小学校の給食自校化の方針が出されるも、耐震で足踏み状態になっている。古い公民館も修繕が必要になってきていると思うし、どうしたらいいかということになるのだと思う。予算を伴うものなので難しいとは思いますが、子どもの食に関することなので、優先してやりたいと思うが。

市の予算を使わずに、なるべく早くできる方法は考えられないか。他市でそのような事例を聞いたことがある。親子方式が可能であるなら、センター方式よりは自校式に近い形でできるので良いことだと思うが。

(清水委員長職務代理者)

中学校はセンター方式だと思っていたので、もし親子方式ができるなら大変良いことだと思う。これは委託にするという考えはあるのか。

(中村保健給食担当参事)

今まで、自校給食の小学校15校のうち6校が直営で9校が調理業務を委託しています。今後、自校化を進めるにあたっては、委託化を進めていく方向で考えております。

(清水委員長職務代理者)

今後について、調理場を含め民間委託していくのか。残りの学校は、親子方式にしていくのか、それに委託を混ぜるのか。

(中村保健給食担当参事)

今進めているのは、調理業務について委託化するという事です。

(清水委員長職務代理者)

調理場は市が作って、調理業務を委託するという事でよいか。

(中村保健給食担当参事)

はい。

(富田委員長)

今の給食センターを修理してでも使っていないと、間に合わないのではないか。全校が自校化するまでには年数が相当かかる。その見通しによっては、センターの修繕費にもある程度お金をかけざるを得ないのではないかと思うが。

(中村保健給食担当参事)

ご指摘のとおり、自校化を進める間、センターの計画的な修繕の必要性はあり、経過の中では維持する必要があると考えます。

(富田委員長)

事務局としては何に対する意見が欲しいのか。

(中村保健給食担当参事)

親子方式についてや、給食センターの廃場などについて、事務局とは違った発想など、ご意見をいただきたいと思います。

(守谷委員)

ひとつの発想として、市が調理場を持たずに委託するという事は、選択肢には入っていないのか。

(中村保健給食担当参事)

現段階では、手法について検討しているところで、ただ今のご意見につきましては、今後の検討課題としたいと思います。

(京谷委員)

親子方式にした場合には、中学校への運搬手段を新たに考えていかなければならないということになるか。

(中村保健給食担当参事)

小学校の調理場で給食を作り、それを中学校へも配送することが想定されますが、小型トラック等による配送も含めて、業務委託することが考えられます。

(平塚学校教育部長)

現在、自校給食化されている学校のうち9校が調理業務を民間委託しておりますが、食材の購入につきましては、直接、栄養士が行っております。食育や食の安全が求められているなか、栄養教諭や栄養士により安全な給食の提供や献立作成に努めております。

(富田委員長)

この件は、学校給食センター運営委員会では議題にならないのか。

(中村保健給食担当参事)

本件につきましては、7月14日に運営委員会が開催予定になっており、事務局からの基本的な考え方を同様に提案させていただこうと考えております。運営委員のなかには市民の方も含まれておりますので、ご意見をいただきながら、数回にわたり協議させていただき、進めてまいりたいと考えております。

(佐藤教育長)

子どもが安全な食材を食べているということは、食育とも関わりがあります。先般、教育委員さんに和田小学校へ行っていただき、給食を試食していただきました。その時使われていた葉物類は、地元農家で採れたものであるということを子どもたちはみんな知っています。地産・地消を含め、食を通して心を豊かにしていくという食育を進めていきたいと考えています。家庭が最も大切な場ですが、学校でも食育を大事にしていきたいと考えております。そのためには、全て外部委託ということでは難しいのではないかと考えます。元々、小学校32校に単独調理場を設置しようということから始まった計画が、少し形を変えてきているというのが現状ですが、いずれにしても食育を大事にしていきたいということです。

(清水委員長職務代理者)

給食センターがいずれ廃場になるということは、今後、小学校に調理場は作るにしても、委託化の方向に動くということか。

(中村保健給食担当参事)

食育を進める中で、直営の部分もあったほうが良いのではないかとこの考え方があることから、根幹となる食材の調達や献立作成は直営で残し、調理業務だけ委託していくということになります。市としての委託推進の考え方がありますが、全部が委託になってしまうことについては、慎重に検討していかなければならないと考えております。

(富田委員長)

親子方式について、委員さんの意見はいかがか。親子方式でないと中学校は自校化から離れてしまい、給食センターは廃場でなく残すことになる。

(京谷委員)

小学校の既存の調理場スペースで、中学校の分も一緒に作れるのか。

(中村保健給食担当参事)

施設の規模が許容量を超える部分もあると思います。例えば中学校分の食器の保管庫を拡げるなどの改修が必要になることが考えられます。今後、新規に調理場を建設する場合には、中学校分も考え合わせた規模で計画していく必要があると思います。

(佐藤教育長)

小学校と中学校それぞれに調理場を設けるよりも、親子方式にすることで建設費用を抑えることができます。また、小学校の子どもの人数が減ってきており、施設的に元々余裕があるところなどは、小改修で済むところもあります。2つの学校給食センターは築30年を経過しており、給排水設備が向こう10年以内に修繕が必要な状況で、多額の費用がかかる見込みです。トータルでご意見をいただけるとありがたいと思います。

(山寄教育総務部長)

今回、学校給食施設についてご協議いただきましたが、先ほども申しあげましたように教育委員会全体として施設整備の優先順位を検討しているところです。教育長からお話がありましたように費用などの比較をしていただくためにはデータが不足しておりますので、今後、検討が進んだ段階で何回かご協議させていただきたいと思います。

(富田委員長)

子どもたちにとっては自校給食が望ましいと思うが、今後、具体的なデータをもとに協議していくこととする。

## 9 報告事項

- 教育委員会の事務事業に関する点検評価について（教育総務課）
- 原発事故に伴う学校プール・北野公園市民プール放射性物質の測定について  
（学校教育課・スポーツ振興課）
- 研修・相談活動について（教育センター）

## 10 その他

- ・教育委員会7月定例会：7月26日（火）午後1時30分～ 602会議室
- ・教育委員会8月定例会：8月26日（金）午後1時30分～ 602会議室

## 11 閉会 午後4時10分